

「宿泊学習を通して学ぶこと」

副校長 山 寄 太

9月は1学年の生徒が9月6日(金)7日(土)の1泊2日で河口湖方面へ、3学年の生徒が、9月12日(木)から14日(土)まで2泊3日で神戸・京都・奈良方面に修学旅行に行きました。宿泊学習は、生徒にとって学校生活のなかで最も思い出に残る行事の1つだと思います。一方で、保護者の皆様にご協力いただく負担が大きく、また、教員の働き方改革の面でも、教員にもっとも負担のかかる行事であるため、全国的にも、多くの学校で残すべきか、あるいは内容を縮小すべきか論議にあがる行事です。

しかし、本校では宿泊学習を大切な行事として、教育課程のなかに位置付けています。その理由としては、本校の目指す生徒像、「よく学び、創造する生徒 進んで協力し、思いやりのある生徒 健康で、逞しい生徒」の育成のために必要不可欠だと考えているからです。また、学習指導要領では、予測困難な時代に生きている現代の生徒が、「何を学ぶか」のみならず、「何ができるようになるか」を重視しています。そのため、宿泊学習も、どのようなことを体験させ、そしてどのような資質・能力を身につけさせるかが大切になってきます。

1学年の移動学習では、実施の目的の1つに、「様々な体験活動を通して、課題を解決し乗り越える力の向上を図る」とあります。実施後の生徒の作文を読むと、1日目のオリエンテーリングを通して、様々なことを学んだことがわかりました。特に、班員のメンバー同士で協力しながら課題を解決することで、他者と合意形成をしながら協働することの大切さを学んだと思います。また、「富士ミルクランド」では搾乳・餌やり体験を通し、実際に乳牛と触れ合いながら命の大切さを学んだことで、目的の1つ「豊かな自然の素晴らしさや美しさに触れ、自然と人間が共存する意義を考え、自然を愛する心を育てる」は達成できました。

3学年の修学旅行では、1日目に神戸の「人と防災未来センター」を訪れ、阪神・淡路大震災で被災された体験者のお話を聞き、防災意識の向上を図りました。また、奈良・京都の歴史的建造物や文化財について、教科の授業で学習したことや、事前学習で調べ、発表したことについて、実際にその場所に行き、五感で体感することで、より深い学びとなったと思います。そして、神戸・京都・奈良での班別自由行動では、班のメンバーと修学旅行前から計画をたて、現地で計画通りに行くように助け合いながら行動することで、目的の1つ「班行動を企画・協力することにより、自立した行動力を身につける」は達成できたと思います。

また、宿泊学習の目的として、1学年・3学年ともにあげているのは、集団生活のきまりを守り、公衆道德について望ましい体験を得ることです。これは、今後の学校生活はもとより、持続可能な社会の担い手として大切な資質・能力であると本校では位置付けています。

宿泊学習に際し、保護者の皆様には多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。保護者の皆様のご協力により、生徒は多くのことを学ぶことができました。ぜひ、ご家庭でも宿泊学習の話題を出していただき、生徒の学びをより深めていただければと思います。



学校の様子



始業式



避難訓練



いじめ防止アンガーマネジメント授業（1年）



移動教室（1年）①



移動教室（1年）②



移動教室（1年）③



修学旅行（3年）①



修学旅行（3年）②



修学旅行（3年）③

不登校の子どもたちを支援する学校等の説明会

八王子市には、「高尾山学園」をはじめ、不登校の子どもたちを支援する学校等がいくつかあります。指導内容やスタッフ、申込みのシステム等にそれぞれ特色があります。そこで、お子さんの状態や必要性に応じてご利用いただくために説明会を開催致します。どうぞお気軽にご参加ください。

1. 対象 市内在住で小・中学生の保護者
2. 日時 10月19日（土） 午前10時～正午まで
3. 会場 教育センター
4. 内容
 - ・高尾山学園、高尾山学園適応指導教室（やまゆり）、適応指導教室（ぎんなん・まつのみ）等の概要説明
 - ・教育センター内見学
 - ・各施設の利用に関する相談

※見学と施設利用に関する相談については、ご希望の方に対応
5. 申込み・問合せ 高尾山学園内 教育指導課支援・相談担当（登校支援）
（電話：663-3216）